

2022年度事業計画

公益財団法人 出光美術館

1. 展示計画

〔要項〕

開館時間 午前10時～午後5時

休館日 毎週月曜日
(但し、月曜日が祝日や振替休日の場合は開館)
年末年始および展示替期間

入館料 一般1200円, 学生800円
団体(20名以上)一般1000円, 学生600円
身障者 一般1000円, 学生600円(同伴者1名は無料)

〔本館〕

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| (1) 国宝手鑑「見努世友」と古筆の美 | 2022年4月23日～2020年6月5日 |
| (2) 生誕150年 板谷波山 | 2022年6月18日～2022年8月21日 |
| (3) 仙匠のすべて | 2022年9月3日～2022年10月16日 |
| (4) 惹かれあう美と創造 — 陶磁の東西交流 | 2022年10月29日～2022年12月18日 |
| (5) 江戸絵画の華(1)— 若冲と江戸絵画 | 2023年1月7日～2023年2月12日 |
| (6) 江戸絵画の華(2)— 京都画壇と江戸琳派 | 2023年2月21日～2023年3月26日 |

〔出光美術館(門司)〕 (公財)出光佐三記念美術館との共催

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 日本のやきもの入門編 | 2022年4月22日～2022年6月26日 |
| (2) 田能村竹田と九州の文人画 | 2022年7月8日～2022年8月21日 |
| (3) 生誕150年 板谷波山 | 2022年9月9日～2022年11月6日 |
| (4) 松尾芭蕉と元禄の美 | 2022年11月18日～2022年12月18日 |
| (5) 色絵と染付 | 2023年1月13日～2023年3月26日 |

〔出品協力〕

宗像大社献茶祭 2022年10月17日

茶道具

今年度館外展の予定はない

2. 美術工芸品および文化関係資料の収集・修理保存

3. 美術工芸品および文化関係資料に関する専門的・技術的な調査研究

4. 前項の成果を解説書・目録・図録・報告書その他の形で編集出版する。

(1) 館報	194号	2022年6月
	195号	2022年12月
(2) 研究紀要	28号	2023年3月

(3) 展覧会図録

本館にて開催する展覧会により、制作・出版する

5. 現下の状況に鑑み、2022年度の講演会の開催は見合わせます。

6. 博物館実習

感染状況によって開催時期は変更となりますが、可能な限り実施の予定です。

7月頃を目途に、当財団学芸員の指導のもとに行う。

7. 文化財修復事業

国宝伴大納言絵詞ほか2件(国庫補助事業 令和3年度～令和4年度 2ヶ年計画の2年目)

8. 文化研究団体への施設の貸与

当財団は(財)中近東文化センターと締結した建物使用貸借契約書(平成4年4月1日締結)に基き、基本財産である三鷹分室(東京都三鷹市大沢3丁目10番31号 所在)の土地・建物を引き続き無償で貸与する。

9. 伝統・文化・芸術の振興及び継承に資する活動への支援

(1) 日本美術に関する修復・調査・研究、出版の活動を行うものを公募により助成する。

日本の歴史的文化的遺産を次代に伝えるとともに、すぐれた研究者の育成を図る。

全国の主要大学、研究機関及び博物館で公募する。選考は、専門家からなる選考委員会により行う。

(2) 日本の古代より近代にいたる絵画・書跡・工芸のうち、指定品に匹敵する美術品で、

緊急に修復を必要とするものに対し、修復費用を助成する。

(3) 日本美術史における新知見の獲得、作品の発掘に貢献する調査・研究に対し、その費用を助成する。

(4) 日本美術に係る学術出版の中で、広く一般への啓発・普及に貢献するものに対し、その出版費用を助成する。

10. 歴史的文化的遺産の展示・公開はじめの伝統・文化・芸術の振興及び継承に資する活動を行う

団体に個別助成する。

11. 福祉に資する活動への支援

(1) 交通事故により生計を支える一家の支柱を失った国公立の小中学校に在籍する児童・生徒を公募により助成する。

(2) 社会福祉施設(障害者福祉施設、児童養護施設)が行う施設改造の費用を公募により助成する。

(3) 福祉に係る公益的な活動を行っている団体を個別に助成する。

12. 建物賃貸事業

(1) 青葉台の建物の一部を、出光興産株式会社に賃貸する。賃貸料は一般に取引される価格とし、令和4年度は月額176万円(消費税込み)とする。

13. 収益事業

(1) 美術に関する各種受託業務を行う。

14. その他財団の目的を達成するために必要な事業を行う。

以上

※9-11 助成計画の内容は以下の通り、本件業務執行にあたっては理事長に一任とする。

(附表) 助成先一覧(案)

(単位:千円)

助成先		3年度予算	3年度実績 見込	4年度 予算
文化 助 成 事 業	日本の美術品の修復助成(公募)	20,000	10,000	25,000
	日本美術史の調査・研究助成(公募)	30,000	3,530	20,000
	日本美術に関する出版助成(公募)	20,000	11,070	25,000
	(公募助成合計)	70,000	24,600	70,000
	出光佐三記念美術館	75,000	75,000	75,000
	中近東文化センター(展示事業)	55,000	55,000	55,000
	中近東文化センター(カマンカレホック調査)	30,000	20,000	30,000
	片山家能楽京舞保存財団	2,000	2,000	2,000
	国民文化研究会	500	500	500
	予備費(元年度は博物館協会への1件)	10,000	500	10,000
(個別助成合計)	172,500	153,000	172,500	
文化助成事業合計		242,500	177,600	242,500
福 祉 助 成 事 業	交通遺児助成(公募)	8,000	5,800	8,000
	福祉施設の改造助成(公募)	26,000	16,353	26,000
	(公募助成合計)	34,000	22,153	34,000
	自警会	1,000	1,000	1,000
	交通遺児育英会	1,000	1,000	1,000
	(個別助成合計)	2,000	2,000	2,000
福祉助成事業合計		36,000	24,153	36,000
助成金合計		278,500	201,753	278,500